

福岡県指定無形民俗文化財



〔葛城〕

寶満神社

奉納能楽

とき 令和五年

十月二十一日(土)

午後三時始め

ところ

まいピア高田

多目的ホール能舞台
福岡県みやま市高田町濃施一四

※コロナウイルス感染予防のため、今年度は
まいピア高田多目的ホールで開催します。



〔羽衣〕

新開能

新開能とは
享保元年(一七六六)当時の柳川藩主立花氏が、祈願成就のため「能楽」を奉納したことが「新開能」のはじまりと言われます。
明治時代になって寶満神社の氏子の自主運営により能楽師ではなく地元の人達が舞うという特色をもつものです。

お謡三番(小学生)
講話(新開能の歴史)
演目

- 一 嵐山(能)
- 二 三本の柱(狂言)
- 三 敦盛(能)
- 四 千鳥(狂言)
- 五 狸々(能)

令和4年10月15日撮影

